

## 2022年度大学院の学習支援・学生サービスに関するアンケート調査報告書

大学院学生委員会

### 目次

1. アンケート調査概要
2. アンケート調査実施の目的と方法
3. アンケート結果
  - 3-1. アンケート回答率
  - 3-2. アンケート集計
  - 3-3. まとめ
4. 図表

### 1. アンケート調査概要

東亜大学大学院総合学術研究科（以下、「本学大学院」と略。）は通学制の博士前期課程・後期課程と通信制修士課程の両課程をもつ。

総合学術研究科博士前期課程・後期課程（医療科学専攻、人間科学専攻、デザイン専攻、臨床心理学専攻）

総合学術研究科（通信制）修士課程（人間科学専攻、デザイン専攻、法学専攻）

本学大学院は、2022年11月9日（水）から12月5日（月）、上記全専攻の院生・研究生・研修生（以下、「院生等」と略。）を対象に、大学院の学習支援・学生サービスの向上に資するため、「2022年度大学院の学習支援・学生サービスに関するアンケート」を実施し、大学院の学習支援・学生サービスに対する点検・評価を行った。方法はgoogle formによった。

アンケートは次の4方面にわたって行った。

- A. 研究・教育に関する支援・サービス提供に関して
- B. 大学院生の心身に対する支援・サービス提供に関して
- C. 大学施設利用に関して
- D. 大学院の学習支援・サービスで良かった点、改善点に関して

定められた期限内に全院生等223名中112名（回答率 50.2%）から回答を得られたので、本委員会は以下のように集計結果をまとめ、ここに公表する。

### 2. アンケート調査実施の目的と方法

- ・ **アンケートの目的:** 大学院の学習支援・学生サービスを改善・向上させること。
- ・ **アンケート対象者:** 東亜大学大学院生(通学制博士前期・後期課程、通信制修士課程)、研究生、研修生
- ・ **アンケート実施期間:** 2022年11月9日（水）～12月5日（月）
- ・ **アンケート調査方法:** Google form
- ・ **アンケート内容:**
  - A. 研究・教育に関する支援・サービス提供に関して(選択式、10問)
  - B. 大学院生の心身に対する支援・サービス提供に関して(選択式、6問)
  - C. 大学施設利用に関して(選択式、10問)
  - D. 大学院の学習支援・サービスで良かった点、改善点に関して(自由記載、1問)

### 3. アンケート結果

#### 3-1. アンケート回答率

院生等223名中112名がアンケートに回答した(回答率50.2%) (表1)。

両課程別のアンケート回答率は通学制博士前期課程73.5%(25/34名)、通学制博士後期課程73.9%(17/23名)、通信制修士課程43.1%(69/160名)、研究生・研修生16.7%(1/6名)であった(表1)。

また専攻別のアンケート回答率は医療科学専攻100.0%(4/4名)、人間科学専攻66.7%(20/30名)、デザイン専攻64.7%(11/17名)、臨床心理学専攻66.7%(20/30名)、法学専攻40.1%(57/142名)であった(表2)。人間科学専攻において20名中8名が通学制、12名が通信制の学生がアンケートに回答した。デザイン専攻において11名中10名が通学制、1名が通信制の学生がアンケートに回答した。臨床心理学専攻において20名中19名が通学制、1名の研究生・研修生の学生がアンケートに回答した。医療科学専攻の学生は全員通学制、法学専攻の学生は全員通信制である。

#### 3-2. アンケートの回答への個別集計

##### A. 研究・教育に関する支援・サービス提供に関して(選択式、10問)

##### 1\_大学院に関する連絡事項(ガイダンス・講義・スクーリング等の日程、奨学金等の情報)について(112名回答)

「よく伝わっている」38名(33.9%)、「伝わっている」56名(50.0%)、「どちらとも言えない」8名(7.1%)、「あまり伝わっていない」9名(8%)、「まったく伝わっていない」1名(0.9%) (図1-1)

##### 2\_大学院に関する連絡事項(ガイダンス・講義・スクーリング等の日程、奨学金等の情報)についての問い合わせに対する教員・職員の対応について(112名回答)

「とても満足している」29名(25.9%)、「満足している」65名(58.0%)、「どちらともいえない」16名(14.3%)、「不満足である」2名(1.8%)、「とても不満足である」0名(0%) (図1-2)

##### 3\_通信制大学院のホームページは使いやすいですか?(通信制大学院生のみ回答)(80名回答)

「とても使いやすい」12名(15%)、「使いやすい」42名(52.5%)、「どちらとも言えない」26名(32.5%)、「使いにくい」0名(0%)、「とても使いにくい」0名(0%) (図1-3)

##### 4\_ガイダンスは有益でしたか?(112名回答)

「とても有益だった」62名(55.4%)、「有益だった」25名(22.3%)、「どちらとも言えない」24名(21.4%)、「有益でなかった」1名(0.9%)、「まったく有益でなかった」0名(0%) (図2-4)

##### 5\_webによる遠隔でのガイダンス、スクーリング等への参加について(112名回答)

「とても満足している」20名(17.9%)、「満足している」53名(47.3%)、「どちらとも言えない」38名(33.9%)、「不満足である」1名(0.9%)、「とても不満足である」0名(0%) (図2-5)

##### 6\_大学院の研究・教育活動におけるインターネット環境について(112名回答)

「とても満足している」22名(19.6%)、「満足している」44名(39.3%)、「どちらとも言えない」32名(28.6%)、「不満足である」11名(9.8%)、「とても不満足である」3名(2.7%) (図2-6)

##### 7\_研究機材(PC、実験装置)等の研究環境について(112名回答)

「とても満足している」10名(8.9%)、「満足している」33名(29.5%)、「どちらとも言えない」48名(42.9%)、「不満足である」12名(10.7%)、「とても不満足である」9名(8.0%) (図3-7)

##### 8\_研究・論文執筆指導等の研究活動に関する指導教員とのコミュニケーションについて(112名回答)

「とても満足している」37名(33.0%)、「満足している」40名(35.7%)、「どちらとも言えない」30名(26.8%)、「不満足である」3名(2.7%)、「とても不満足である」2名(1.8%) (図3-8)

##### 9\_課題提出、講義内容の質疑応答等に関する講義担当教員の対応について(通学制博士前期課程、通信制修士課程の大学院生のみ回答)(99名回答)

「とても満足している」22名(22.2%)、「満足している」54名(54.5%)、「どちらとも言えない」20名(20.2%)、「不満足である」3名(3.0%)、「とても不満足である」0名(0%) (図3-9)

##### 10\_休学等の事務手続きに関する事務職員の対応について(112名回答)

「とても満足している」16名(14.3%)、「満足している」43名(38.4%)、「どちらとも言えない」52

名(46.4%)、「不満足である」1名(0.9%)、「とても不満足である」0名(0%) (図4-10)

## B. 大学院生の心身に対する支援・サービス提供に関して(選択式、6問)

### 11\_大学院生活を送る上での経済面について(112名回答)

「まったく問題ない」18名(16.1%)、「問題ない」54名(48.2%)、「どちらとも言えない」27名(24.1%)、「問題がある」9名(8.0%)、「とても問題がある」4名(3.6%) (図5-11)

### 12\_大学院生活上での心身の状態について(112名回答)

「極めて良い」16名(14.3%)、「良い」48名(42.9%)、「普通」33名(29.5%)、「あまり良くない」13名(11.6%)、「悪い」2名(1.8%) (図5-12)

### 13\_大学院修了後の進路(就職等)について(112名回答)

「全く不安がない」13名(11.6%)、「不安はない」48名(42.9%)、「どちらとも言えない」32名(28.6%)、「不安である」14名(12.5%)、「とても不安である」5名(4.5%) (図5-13)

### 14\_教職員との関係について(112名回答)

「良好である」73名(65.2%)、「どちらとも言えない」38名(33.9%)、「良好ではない」1名(0.9%) (図6-14)

### 15\_心身の不調、大学院修了後の進路、大学院における人間関係に関して指導教員、事務職員、カウンセラー等の本学職員から支援やケアを受けたことがありますか?(112名回答)

「ある」18名(16.1%)、「ない」94名(83.9%) (図6-15)

### 16\_質問15で「ある」と回答された方へ。支援やケアについて(18名回答)

「とても満足している」7名(38.9%)、「満足している」11名(61.1%)、「どちらとも言えない」0名(%)、「不満足である」0名(%)、「とても不満足である」0名(%) (図6-16)

## C. 大学施設利用に関して(選択式、10問)

### 17\_東亜大学内の施設を普段利用していますか?(112名回答)

「利用している」30名(26.8%)、「利用していない」82名(73.2%) (図7-17)

### 18\_質問17で「利用している」と回答された方へ。大学施設(衛生面、設備)について(31名回答)

「とても満足している」4名(12.9%)、「満足している」14名(45.2%)、「どちらとも言えない」6名(19.4%)、「不満足である」5名(16.1%)、「とても不満足である」2名(6.5%) (図7-18)

### 19\_大学の健康相談室(保健室)や学生相談室(カウンセリングルーム)を利用したことがありますか?(112名回答)

「利用した」7名(6.3%)、「利用したことがない」105名(93.8%) (図8-19)

### 20\_質問19で「利用した」と回答された方へ。健康相談室や学生相談室を利用した際、スタッフの対応について(7名回答)

「とても満足している」5名(71.4%)、「満足している」2名(28.6%)、「どちらとも言えない」0名(0%)、「不満足である」0名(0%)、「とても不満足である」0名(0%) (図8-20)

### 21\_これまでにキャリアセンターを利用したことがありますか?(112名回答)

「ある」8名(7.1%)、「ない」104名(92.9%) (図9-21)

### 22\_質問21で「利用した」と回答された方へ。キャリアセンターを利用した際、スタッフの対応について(8名回答)

「とても満足している」3名(37.5%)、「満足している」5名(62.5%)であった。「どちらとも言えない」0名(0%)、「不満足である」0名(0%)、「とても不満足である」0名(0%) (図9-22)

### 23\_大学図書館を利用したことがありますか?(112名回答)

「利用した」36名(32.1%)、「利用したことがない」76名(67.9%) (図10-23)

### 24\_質問23で「利用した」と回答された方へ。大学図書館を利用した際、有益な情報を得られましたか?(36名回答)

「とても有益な情報を得られた」5名(13.9%)、「有益な情報を得られた」16名(44.4%)、「どちらとも言えない」9名(25%)、「有益な情報が得られなかった」6名(16.7%)、「まったく有益な情報が得られなかった」0名(0%) (図10-24)

## 25\_本学の学生食堂や売店を利用したことがありますか？(112名回答)

「利用した」26名(23.2%)、「利用したことがない」86名(76.8%) (図11-25)

## 26\_質問25で「利用した」と回答された方へ。学食、売店について(27名回答)

「とても満足している」10名(37%)、「満足している」4名(14.8%)、「どちらとも言えない」5名(18.5%)、「不満足である」6名(22.2%)、「とても不満足である」2名(7.4%) (図11-26)

## D)大学院の学習支援・サービスで良かった点、改善点に関して(自由記載、1問)

### A. 研究・教育に関する支援・サービス提供に関して

- ・指導教員の指導、大学院担当事務の対応に満足している
- ・COVID-19の影響で面談による指導を受けられない状況があった。
- ・掲示板が人間科学専攻、臨床心理学等の専攻別に分かれていたら分かりやすい。
- ・動画をダウンロードしてオフラインで視聴ができる、スクーリング資料をPDFで送ってほしい。
- ・通信制大学院のガイダンスをweb配信にしてほしい。ガイダンス出席が必要ならば入学募集案内時にその旨を記載してほしい。
- ・ゼミ決定前に各研究室の見学や説明会等を開いてほしい。
- ・大学院生専用のポータルサイトの有効活用(課題提出、大学からの連絡事項)。
- ・ゼミ選択に関して情報量が少ない。
- ・スクーリングの日程の連絡をもう少し早くしてほしい。
- ・スクーリング時の食券は現地で渡してほしい。
- ・連絡網に記載されているアドレスに質問を送ったが返答がないときがある。
- ・オンデマンド講義に配布資料が欲しい
- ・1年次の講義のレポート内容が2年次の修士論文作成に反映されていない。
- ・研究室のエアコン、机などの設備を増やしてほしい。
- ・研究室のPC環境、周辺機器を改善してほしい。年代が古く故障中のままの機材がある。
- ・センターのプレイルームのおもちゃの買い替えや新規購入希望。
- ・大学院各専攻に最低でも1名の専門事務員を置いてほしい。現在、各授業の連絡や準備は授業ごとに担当の教員がしているが、準備や情報の伝達は事務教員が行ってほしい。

### B. 大学院生の心身に対する支援・サービス提供に関して

- ・(博士)後期(課程)学生のキャリア形成のためチューデント・アシスタント、リサーチ・アシスタント、ティーチング・アシスタントとしての採用や、基礎科目等の非常勤講師採用の流れがあると嬉しい。

### C. 大学施設利用に関して

- ・トイレ等の施設環境を改善してほしい。
- ・図書館で過去の修士論文の閲覧がスムーズにできるようにしてほしい。
- ・他大学図書館にある書籍を東亜大学図書館で自宅へ郵送貸し出しできるサービスがあると助かる。
- ・図書館の専門書籍と論文が不足している。
- ・文献検索のための施設が足りない。
- ・研究用の論文などが学校でダウンロードできない、研究用の書物も足りない。
- ・学校の施設を詳しく案内してほしい。
- ・学生食堂を充実してほしい。

## 3-3. 4方面での回答結果についてのまとめ(本委員会の所見を含む。)

### A. 研究・教育に関する支援・サービス提供に関して

研究教育、論文執筆の指導、教職員と学生とのコミュニケーション及び事務手続きに関する事

務職員の対応に関して概ね満足しているとの回答が得られた。なお5%弱の学生から「不満足」の回答があったことは留意すべきである。「一人の取り残しもなく」、が本大学院のモットーである。しかし、研究・教育活動を行う上での研究環境(インターネット環境、研究機材、研究室の温冷房)に対して、少数であるが、「不満足」とする回答があった。さらに1名であるが、「自由記載」欄に研究室の研究機材等が古く故障したままとなっているとの記載があったが、その場合教職員にその旨を伝えてほしいし、大学としても早急に対処する必要がある。コミュニケーションの円滑でないことが感じられた。

#### B. 大学院生の心身に対する支援・サービス提供に関して

教職員との関係については概ね良好である回答が得られた。しかし、ここでの回答には、院生等の大学院進学モチベーションも関わっていると思われるので、経済面、心身状態の面、施設設備の利用上の面に分けてみてゆく必要がある。

経済面について、60%以上の回答は、「まったく問題がない」あるいは「問題がない」との回答であり、心強い。ただアンケート対象の学生の中には「働きながら学ぶ」通信制大学院の学生、とくに法学専攻の学生も相当の割合で加わっており、かれらは税理関係等の事務所に勤務しながら、学位(修士)取得を目指しているものであり、その限りで経済的問題はない。ただ通信制の場合、指導教員と学生とは一対一の関係であり、コミュニケーションが十分とれていないと、本アンケートのA)の問題にゆくことになる。経済面で「問題がある」と回答した学生は概ね通学制の学生だと思われる。最近のコロナ感染防止のため対面で授業を受けたり、大学内に入ることさえ禁じられ、通学生ですら孤立感を深めることを余儀なくされたこともあったろうが、一般には通学生の場合は、同専攻の複数教職員や同僚学生たちに励まされて、苦境を乗り切ることも可能である。「どちらとも言えない」と回答した学生をも含めて、全体的な配慮が必要だろう。

心身の状態について、「極めてよい」、「よい」、「普通」と回答した学生が90%に近いということは心強い。だが、経済面について指摘したことがここでも言える。通信制の学生は社会人であり、会社等に勤務してキャリアアップを目指しており、「心身の状態がよくない」と答えないであろう。「良くない」と回答した1割強の学生のほとんどは通学制の学生であろうし、かれらへの心のケアについて十分配慮してゆくべきであろう。本学には健康相談センター(健康相談室・学生相談室)があることから、今後は学生へ指導教員への相談以外にも、特に通学制の場合であるが、健康相談センター(健康相談室・学生相談室)及びキャリアセンターの利用をすすめてゆく必要がある。

大学院修了後の進路(就職等)について、専攻によって進路等の不安は大きく異なる。法学専攻の学生は、将来税理士を目指しており、税理士試験の合格が当面の目標である。修士課程を修了(修士論文合格)すれば、税理士試験中の難関2科目が免除になる(国税庁の審査があるが、本専攻修了生でハネられた者はいない)。5倍近い競争率を経て本大学院に入学してくる学生は修了に向けて全力を尽くす。税理士の世界で、「東亜大学大学院法学専攻修了」はブランドになりつつある。修了後の不安はない。通信制の他専攻の学生も、本大学院で「働きながら学び、現職のキャリアアップを目指しており、進路に不安がない。むしろ通学制大学院にいて、基礎研究をする学生に招来の不安を抱えている者がいるが、これは今日日本の大学院生の共通の不安である。指導教員の適切な研究指導が望まれる。また本学教職員からの行き届いた支援やケアが必要であろう。

#### C. 大学施設利用に関して

回答者が少なかったが、これは通信制の院生等はスクーリング時にしか本大学キャンパスに来ない。法学専攻の学生はスクーリングさえ本学がそのために借り上げた東京会場で行われる。本学の施設を利用できる院生等は限られている。回答者が少なかったことは当然である。

キャリアセンターは本学キャンパスに通う院生等に利用者は限られる。「利用したことがない」が90%を超えるのは当然である。ただ訪れた者の多くは、スタッフの対応にも「満足」と回答している。今後本大学の大学院生は増える傾向があり、大学院問題に詳しいスタッフを育成す

る必要になってくるだろう。

#### D. 大学院の学習支援・サービスで良かった点、改善点に関して（「自由記載」）

多くの有意義な意見をいただいた。一つ一つの意見について、それらを参考にしながら、院生等の学習支援の向上を図ってゆきたい。それぞれに十分な返事をするべきであるが、ここでは次の3点について、大学の状況、委員会の意見を記す。

衛生施設、特にトイレ等の設備の改善を要望する声があった。本学の教育研究棟は堅牢であるが、建築後40年以上経っていて、トイレ、エレベーター、冷暖房等の設備に故障、不調が随所に出ている。現在全体計画で順次改修しているので、今少し待っていただきたい。

また図書館を利用している者で、有益な情報が得られないと回答する者がいた。研究に必要な専門書籍及び論文が不足している、修士論文の閲覧がスムーズにできない等が挙げられた。大学としても反省するところが多い。この問題は重要である。

図書館の利用等については、4点に分けて所見を加えたい。1. 図書館に所蔵されている文献が、検索機能の不調から、利用できない状況がつづいている。現在図書館は図書在庫登録を再整備していて、しっかり検索できるようにするにはもう数年かかるということである。2. 研究等に必要の基礎文献は、1. と被さることがあっても、整備してゆく必要がある。特に教員の研究室には、教員が管理している図書が配置されているので、学生は論文執筆時に指導教員によく相談して、基礎文献、参考文献へのアプローチを図るべきだろう。3. 図書館を通じて、全国の大学図書館、公立図書館にある文献を借りる方法がある。この方法を活用すべきだろう。4. その他、近年発達しているIT環境を利用して、新聞や雑誌の記事、さまざまな映像も探し出すこともできる。こうした、現代だからこそできる新しい情報環境を見つけ出してゆくことも、大きな仕事であろう。本学にはIT技術を駆使して、最先端の研究をすすめている教員も多くいる。院生等諸君も、指導教員以外にもIT技術にすぐれた教員から情報や資料発見の方法を学んでほしい。

#### 4. 全体的所見

本アンケートはGoogle formで行われた。お蔭で、50%を超える回答率を得ることができた。今後のアンケート調査の有力な方法となろう。回答を見ても、回答者は真面目に質問事項に対応してくれた。委員会として感謝する。

だが本学大学院に籍を置きながら、いろいろな事情から本学大学院の教育環境から出てしまった院生も、ほんの少数ではあるがいないとも限らないであろう。本委員会はこれらの学生から「何故出たのか」を真剣に面談し、本学大学院の成長に役立てたいと考えている。だがGoogle formによる調査では、研究室で指導教員としっかりコンタクトをとり、研究指導を受けている者とそうした指導環境から出た者を区別できない。匿名の不特定者として「不平の1票」として全体の中に入ってしまっていて、問題を具体的に聴き出せないことを惜しむ。これは本学のモットー「一人の取り残しもなく」に反すると言える。

回答率は低かったかもしれないが、従来の教室での回答という環境のよさも今後考えてゆきたい。

**表1 課程別アンケート回答率**

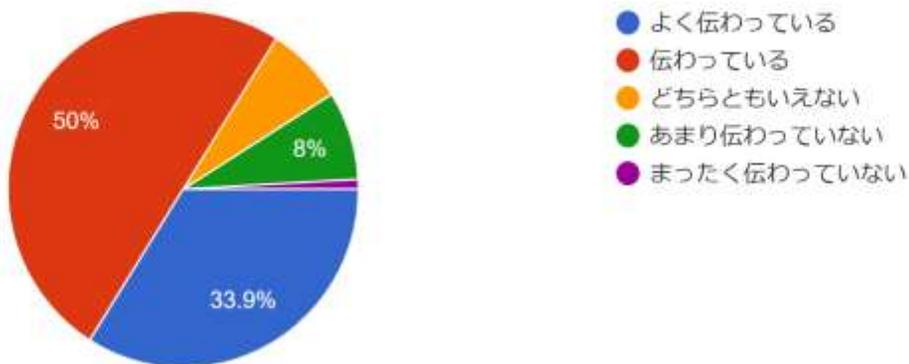
	回答者数(名)	学生数(名)	回答率(%)
通学制博士前期課程	25	34	73.5
通学制博士後期課程	17	23	73.9
通信制修士課程	69	160	43.1
研究生・研修生	1	6	16.7
合計	112	223	50.2

**表2 専攻別アンケート回答率**

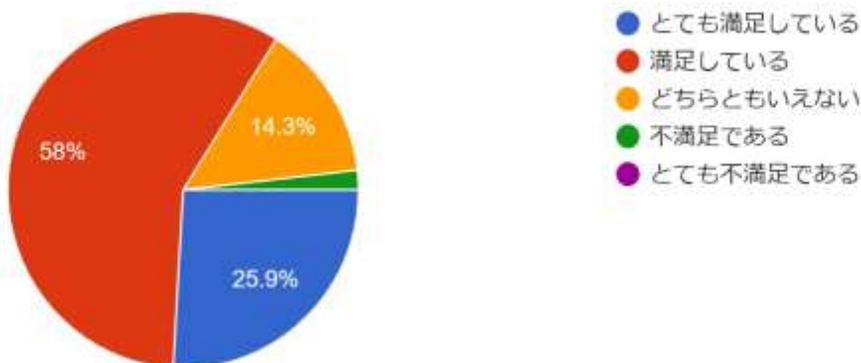
	回答者数(名)	学生数(名)	回答率(%)
医療科学専攻	4	4	100.0
人間科学専攻	20	30	66.7
デザイン専攻	11	17	64.7
臨床心理学専攻	20	30	66.7
法学専攻	57	142	40.1
合計	112	223	50.2

# A.研究・教育に関する支援・サービス提供に関して1

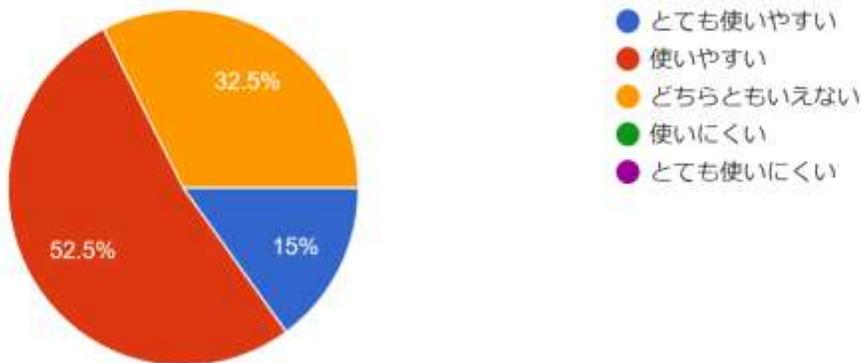
1\_大学院に関する連絡事項(ガイダンス・講義・スクーリング等の日程、奨学金等の情報)について(112名回答)



2\_大学院に関する連絡事項(ガイダンス・講義・スクーリング等の日程、奨学金等の情報)についての問い合わせに対する教員・職員の対応について(112名回答)

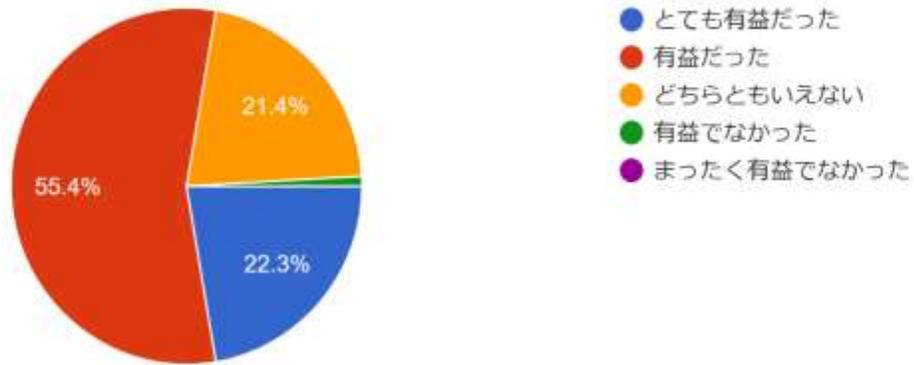


3\_通信制大学院のホームページは使いやすいですか?(通信制大学院生のみ回答)(80名回答)

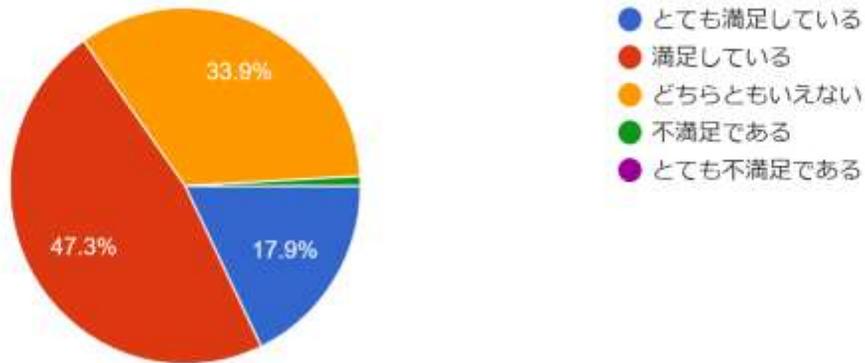


# A.研究・教育に関する支援・サービス提供に関して2

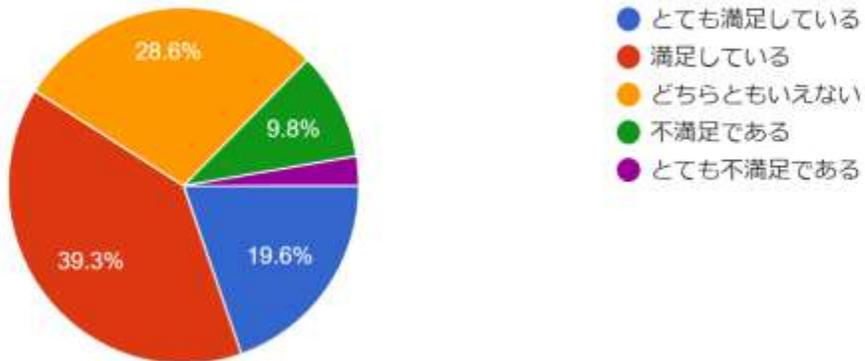
## 4\_ガイダンスは有益でしたか?(112名回答)



## 5\_webによる遠隔でのガイダンス、スクーリング等への参加について(112名回答)

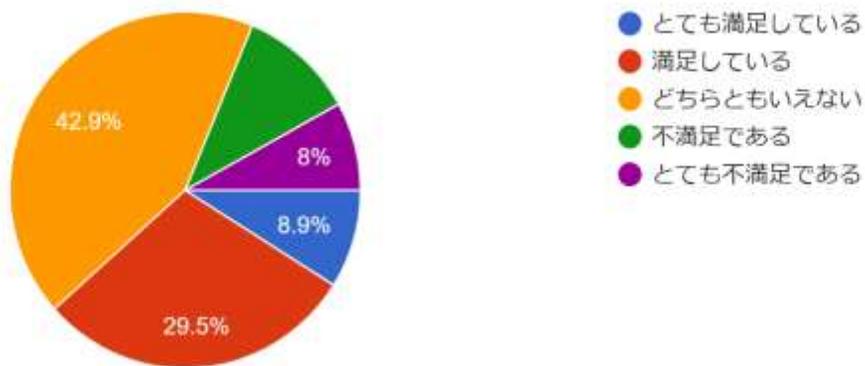


## 6\_大学院の研究・教育活動におけるインターネット環境について(112名回答)

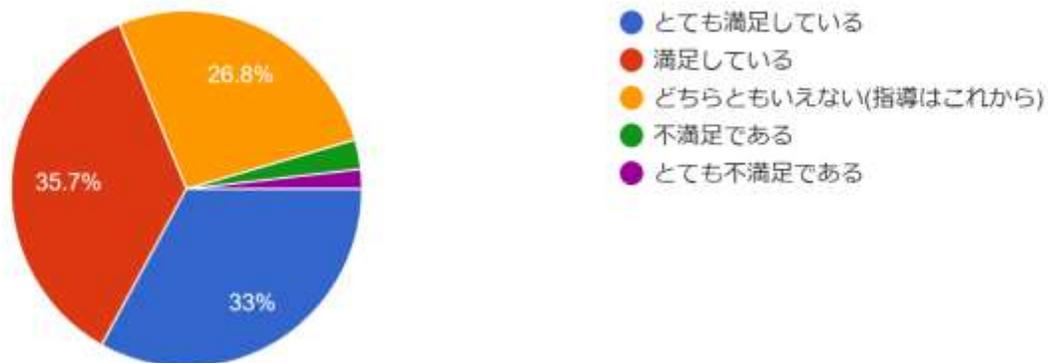


# A.研究・教育に関する支援・サービス提供に関して3

## 7\_研究機材(PC、実験装置)等の研究環境について(112名回答)



## 8\_研究・論文執筆指導等の研究活動に関する指導教員とのコミュニケーションについて(112名回答)



## 9\_課題提出、講義内容の質疑応答等に関する講義担当教員の対応について(通学制博士前期課程、通信制修士課程の大学院生のみ回答)(99名回答)

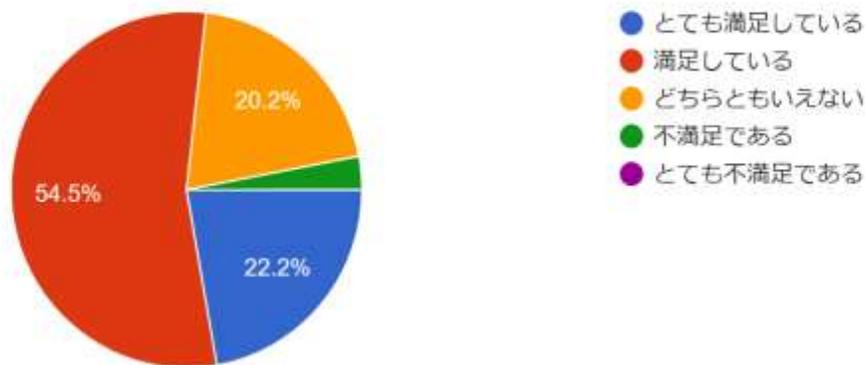
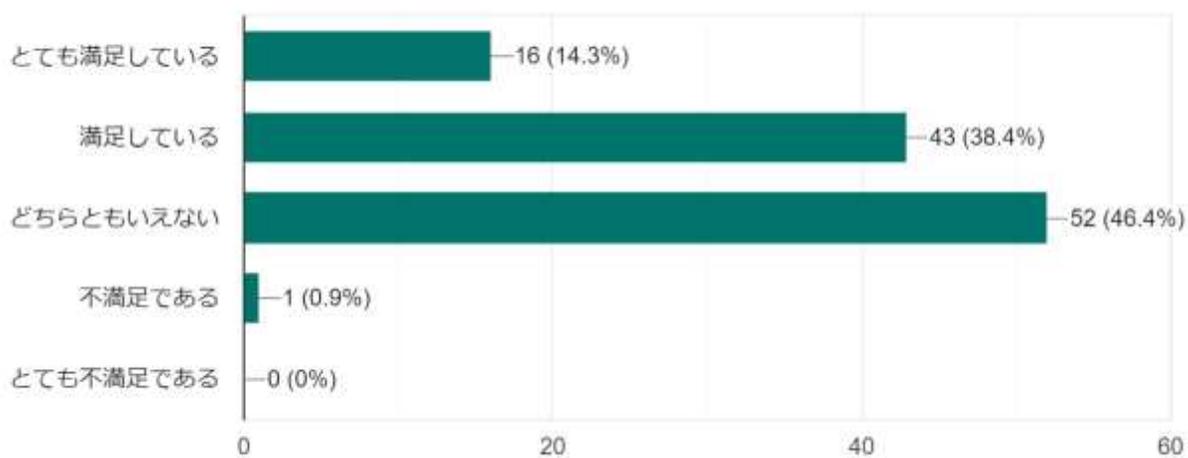


図3

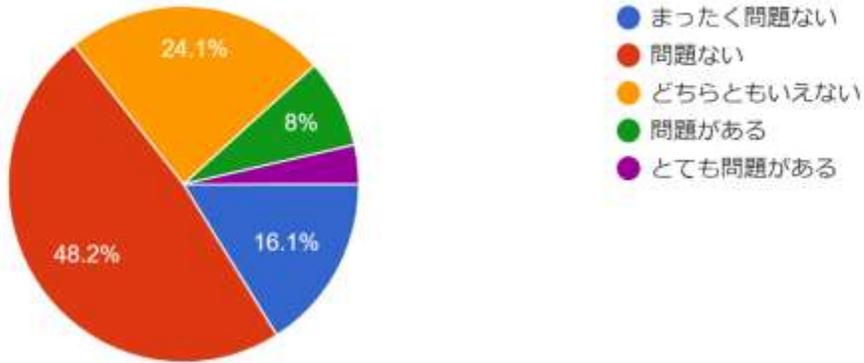
## A.研究・教育に関する支援・サービス提供に関して4

### 10\_休学等の事務手続きに関する事務職員の対応について(112名回答)

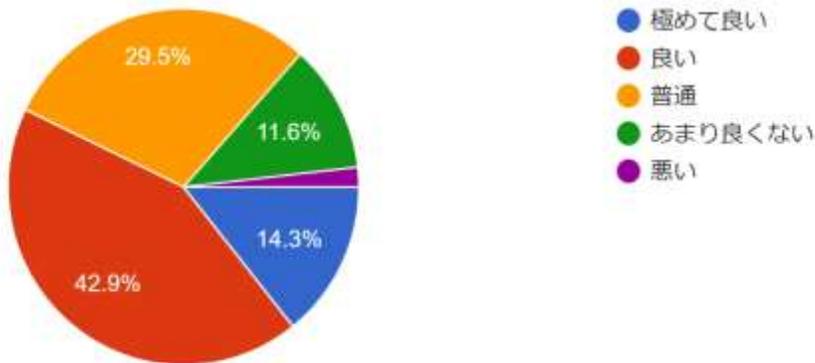


## B.大学院生の心身に対する支援・サービス提供に関して1

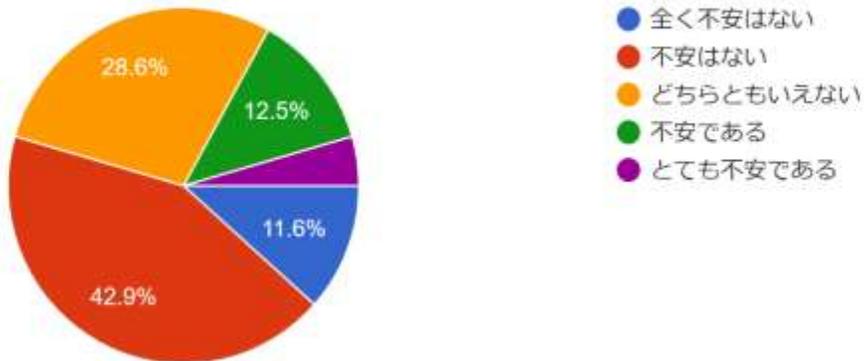
11\_大学院生活を送る上での経済面について(112名回答)



12\_大学院生活上での心身の状態について(112名回答)

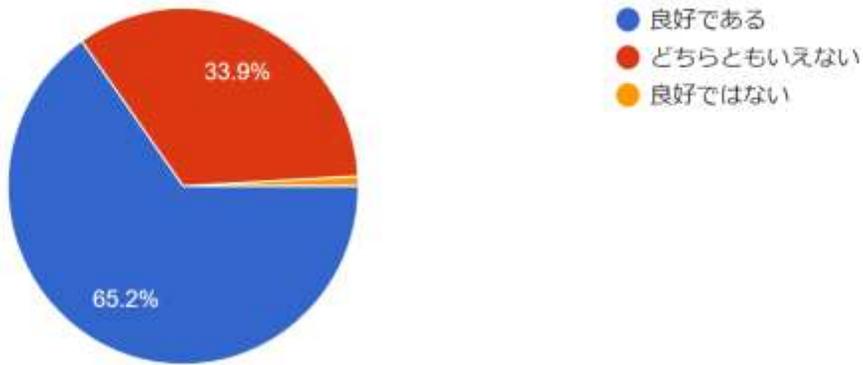


13\_大学院終了後の進路(就職等)について(112名回答)

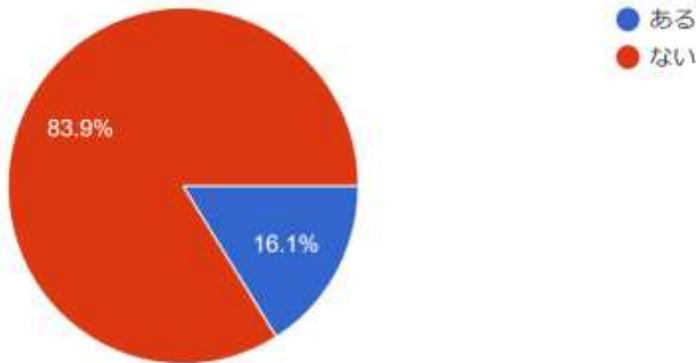


## B.大学院生の心身に対する支援・サービス提供に関して2

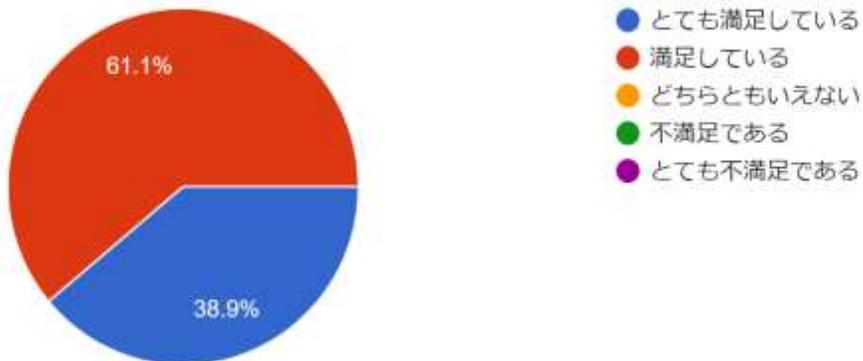
### 14\_教職員との関係について(112名回答)



### 15\_心身の不調、大学院修了後の進路、大学院における人間関係に関して指導教員、事務職員、カウンセラー等の本学職員から支援やケアを受けたことがありますか？(112名回答)

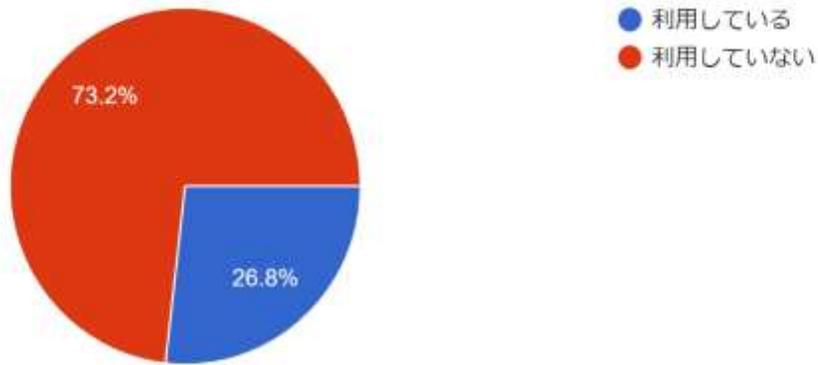


### 16\_質問15で「ある」と回答された方へ。支援やケアについて(18名回答)

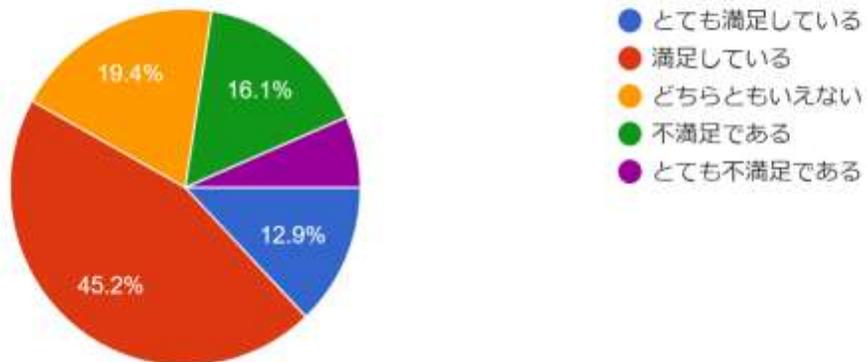


## C.大学施設利用に関して1

17\_東亜大学内の施設を普段利用していますか?(112名回答)

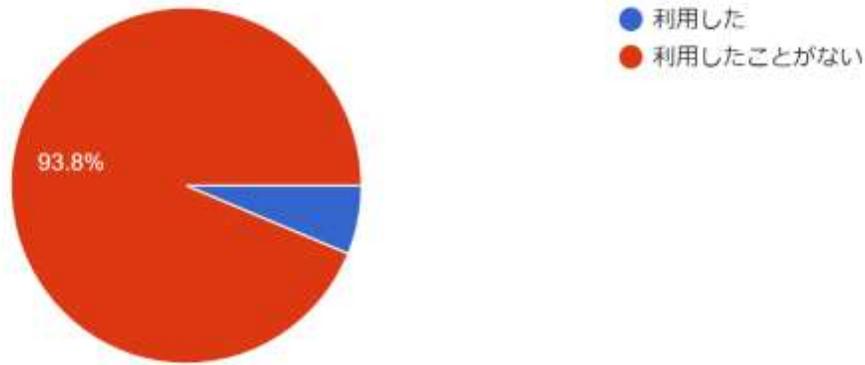


18\_質問17で「利用している」と回答された方へ。大学施設(衛生面、設備)について(31名回答)

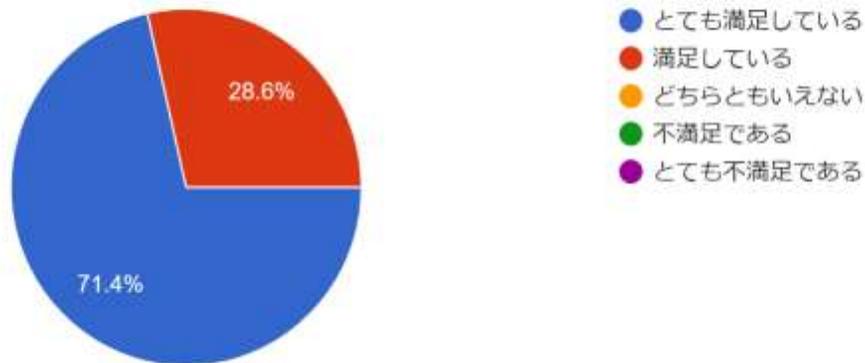


## C.大学施設利用に関して2

19\_大学の健康相談室(保健室)や学生相談室(カウンセリングルーム)を利用したことがありますか？(112名回答)

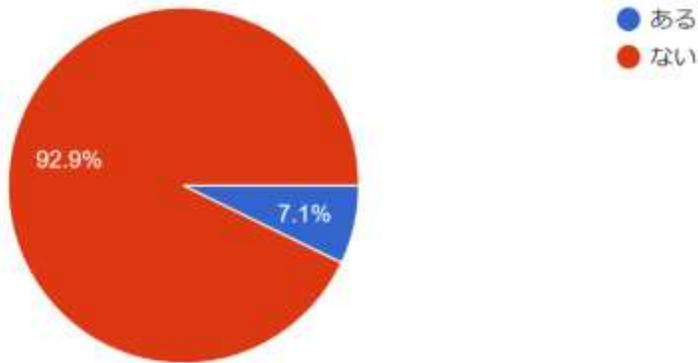


20\_質問19で「利用した」と回答された方へ。健康相談室や学生相談室を利用した際、スタッフの対応について(7名回答)

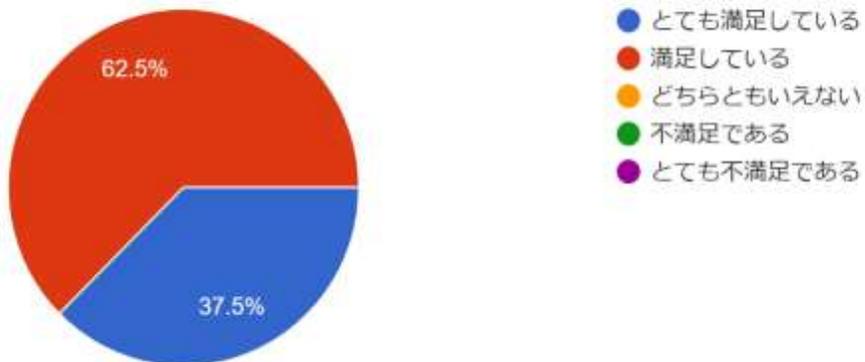


## C.大学施設利用に関して3

21\_これまでにキャリアセンターを利用したことがありますか？(112名回答)

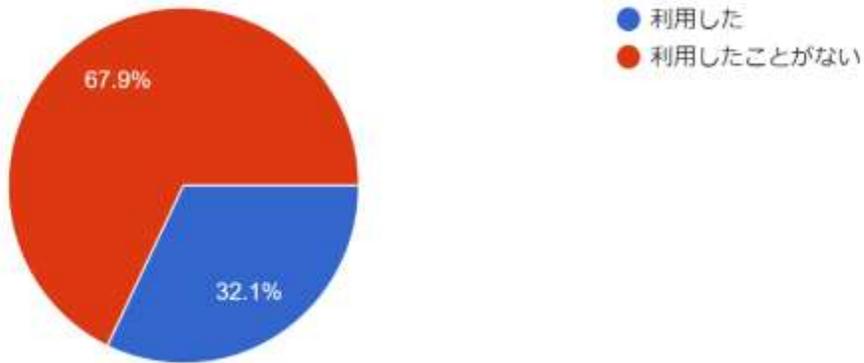


22\_質問21で「利用した」と回答された方へ。キャリアセンターを利用した際、スタッフの対応について(8名回答)

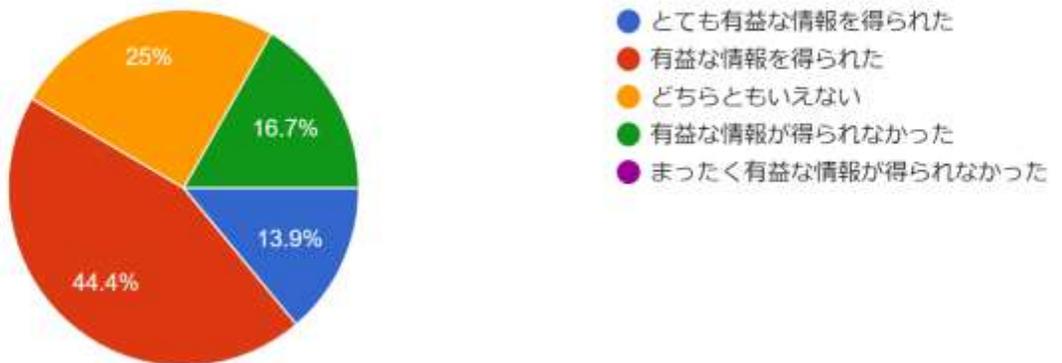


## C.大学施設利用に関して4

23\_大学図書館を利用したことがありますか?(112名回答)

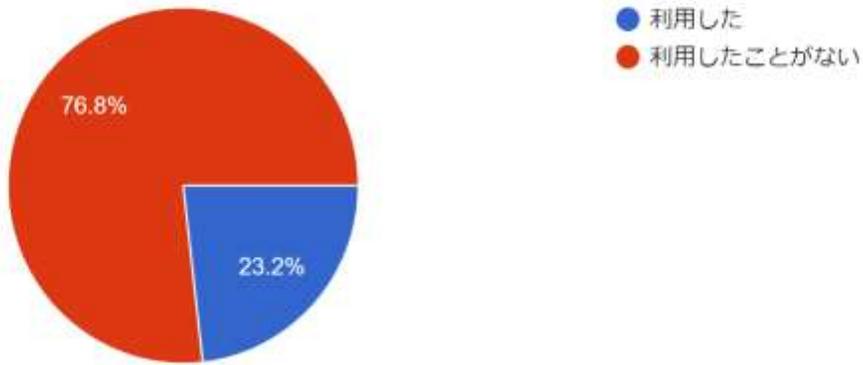


24\_質問23で「利用した」と回答された方へ。大学図書館を利用した際、有益な情報を得られましたか?(36名回答)



## C.大学施設利用に関して5

25\_本学の学生食堂や売店を利用したことがありますか？(112名回答)



26\_質問25で「利用した」と回答された方へ。学食、売店について(27名回答)

